

5-3 計画の基本目標

基本方針を踏まえ、本計画の基本目標を以下のとおり設定し、施策・事業の推進によりこれらの目標達成を目指す。

基本目標 1 地域公共交通ネットワークの維持・確保

市民生活やまちづくりにとって不可欠な地域公共交通ネットワークについて、採算性だけでなく、存続により得られる効果を総合的に考慮しながら、維持・確保を図る。

指標	単位	現況値	目標値
指標 1 JR 筑豊本線の中間市内駅の 1 日あたり乗車人員数（中間駅・筑前垣生駅） 【資料：JR 九州資料】	人/日	1,752 (R4 年度)	1,752 (R10 年度)
指標 2 筑豊電鉄の中間市内駅の年間乗降人員数 【資料：筑豊電鉄資料】	千人	1,204 (R4 年度)	1,204 (R10 年度)
指標 3 西鉄バス中間線の年間輸送人員数 【資料：西鉄バス北九州（株）資料】	人	101,627 (R5 年度) ※1	101,627 (R10 年度) ※2
指標 4 コミュニティバスの年間利用者数 【資料：中間市資料】	人	2,175 (R5 年度) ※1	2,870 (R10 年度) ※2
指標 5 西鉄バス中間線の収支率 【資料：西鉄バス北九州（株）資料】	%	34.37 (R5 年度) ※1	34.37 (R10 年度) ※2
指標 6 コミュニティバスの収支率 【資料：中間市資料】	%	13.86 (R5 年度) ※1	16.67 (R10 年度) ※2
指標 7 西鉄バス中間線の利用者 1 人あたりの財政負担額 【資料：中間市資料】	円/人	208 (R4 年度) ※3	208 (R10 年度) ※2
指標 8 コミュニティバスの利用者 1 人あたりの財政負担額 【資料：中間市資料】	円/人	1,162 (R5 年度) ※1	928 (R10 年度) ※2

※1) 令和 4 年 10 月から令和 5 年 9 月までを R5 年度とする。

※2) 令和 9 年 10 月から令和 10 年 9 月までを R10 年度とする。

※3) 令和 3 年 10 月から令和 4 年 9 月までを R4 年度とする。

【指標 1・2・3・5・7 の目標値の考え方】

鉄道及び路線バスに関する指標の目標値については、将来的に本市の人口が減少し、利用者の減少も見込まれる中で、利用啓発、情報発信、利用しやすい運賃体系への改善等、様々な事業に取り組むことにより、現在の水準の維持を目指す。

【指標 4・6・8 の目標値の考え方】

コミュニティバスに関する指標の目標値については、現況値がコロナ禍の令和 3 年度の数值よりも低いため、利用方法の周知や利用促進等により改善を図り、令和 3 年度の水準まで戻すことを目指す。

基本目標 2 新たな技術の活用等による地域公共交通の利便性向上

利便性向上を目指し、デジタル技術等の新たな技術を取り入れた取組に対して、市が適切な支援を行う。

	指標	単位	現況値	目標値
指標 9	MaaS ^{※4} の導入に向けた取組件数 【資料：中間市資料】	件	0 件 (R5 年度まで)	2 件 (R10 年度まで)

※4) MaaS とは、Mobility as a Service の略称で、情報通信技術を用いて、あらゆる公共交通機関を結び付け、効率よく、かつ便利に使えるようにする概念及びシステム。

【指標 9 の目標値の考え方】

MaaS の導入に向けた取組件数は現在 0 件だが、コミュニティバスの AI オンデマンド化やキャッシュレス決済の導入、デジタルチケットの販売等の取組に向けた検討を行うことにより、令和 10 年度までに 2 件実施することを目指す。

基本目標 3 市民の意識醸成による公共交通の利用増

地域公共交通を利用して守るという意識を醸成し、公共交通の利用増に向け、学生や高齢者を始めとした市民需要の掘り起こしと、自家用車依存からの脱却を図る。

	指標	単位	現況値	目標値
指標 10	高齢者の運転免許証自主返納率 ^{※5} 【資料：福岡県警察資料】	%	2.28 (R4 年)	2.50 (R10 年)
指標 11	情報発信、乗り方教室開催等による、意識醸成のための取組件数 【資料：中間市資料】	件	1 件 (R5 年度)	4 件 (R10 年度)

※5) 前年末の運転免許証保有者数に対する当年一年間の返納者数の割合として算出する。

したがって、現況値は R3 年末の運転免許保有者数に対する R4 年の返納者数の割合、目標値は R9 年末の運転免許保有者数に対する R10 年の返納者数の割合とする。

【指標 10 の目標値の考え方】

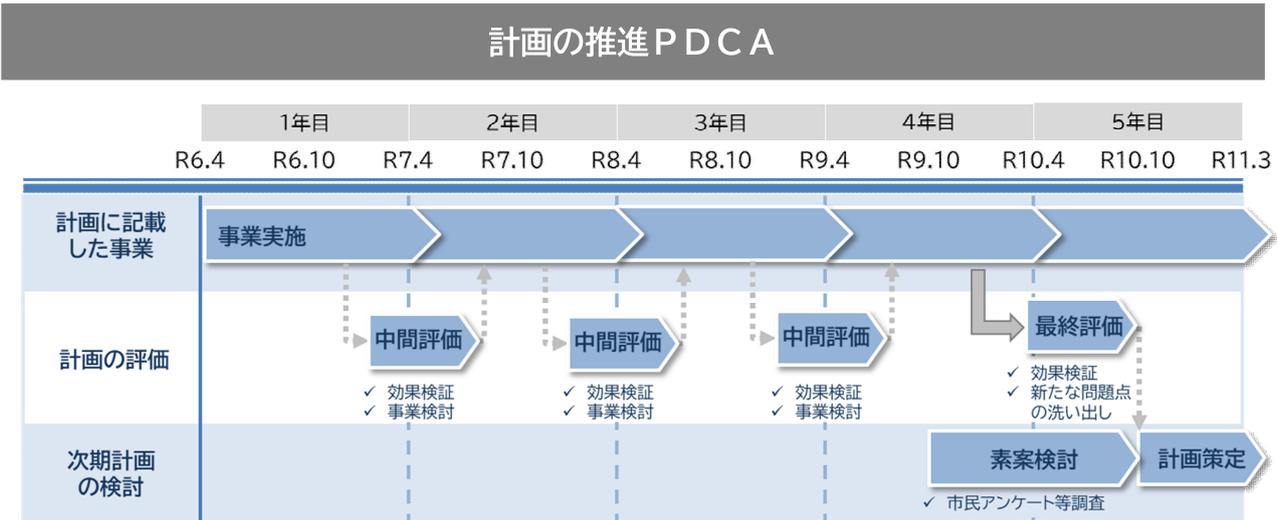
高齢者の運転免許証自主返納率の目標値については、運転免許自主返納者に対する支援等に取り組むことにより、現況値よりも 1 割向上することを目指す。

【指標 11 の目標値の考え方】

意識醸成のための取組件数について、令和 5 年度においては、筑豊電鉄が実施している乗り方教室 1 件であるが、今後、このような教室や中間市からの情報発信を積極的に行うことにより、令和 10 年度には 4 件の実施を目指す。

7-3 計画の評価方法

本計画は、設定した目標及びその指標の達成状況を見ながら、計画の進捗状況を管理していく。
 事業年度の後半に事業進捗や指標のモニタリングを行い、効果検証を実施するとともに、次年度の事業内容について検討を行って、効果の積み上げを図っていく。
 計画4年目時点には最終評価を行い、計画5年目時点で次期計画策定に向けた検討を進めていく。
 なお、社会情勢の変化等、計画の見直しが必要となった場合には適宜見直しを検討していく。



指標		計画策定時の 現況値		最終年度の 目標値		中間評価 (R6)		検証	
指標 1	JR筑豊本線の中間市内駅の1日あたり乗車人員数（中間駅・筑前垣生駅） 中間駅→ 筑前垣生駅→ 【資料：JR九州資料】	1,752 1,420 332 (R4年度)	人/日 人/日 人/日	1,752 — — (R10年度)	人/日 人/日 人/日	1,725 1,377 348 (R5年度)	人/日 人/日 人/日	中間駅の利用者数は減少。一方、筑前垣生駅の利用者数は増加。全体として利用者数は減少。中間評価時点で目標値には未達。	
指標 2	筑豊電鉄の中間市内駅の年間乗降人員数 通谷駅→ 東中間駅→ 筑豊中間駅→ 希望が丘高校前駅→ 【資料：筑豊電鉄資料】	1,204 447 213 293 251 (R4年度)	千人 千人 千人 千人 千人	1,204 — — — — (R10年度)	千人 千人 千人 千人 千人	1,292 498 230 313 251 (R5年度)	千人 千人 千人 千人 千人	希望が丘高校前駅の乗降人員は維持。通谷駅、東中間駅、筑豊中間駅の乗降人員は増加。全体として乗降人員は増加。中間評価時点で目標値を達成。	
指標 3	西鉄バス中間線の年間輸送人員数 【資料：西鉄バス北九州（株）資料】	101,627 (R5年度 [※])	人	101,627 (R10年度 [※])	人	101,762 (R6年度 [※])	人	西鉄バス中間線の輸送人員は増加。中間評価時点で目標値を達成。	
指標 4	コミュニティバスの年間利用者数 中間南校区 底井野校区 【資料：中間市資料】	2,175 593 955 316 311 (R5年度 [※])	人 人 人 人 人	2,870 — — — — (R10年度 [※])	人 人 人 人 人	2,794 951 1,317 276 250 (R6年度 [※])	人 人 人 人 人	中間南校区では利用者数が増加。一方、底井野校区では利用者が減少。全体として利用者数は増加しているが、中間評価時点で目標値には未達。	
指標 5	西鉄バス中間線の収支率 営業収益→ 営業費用→ 【資料：西鉄バス北九州（株）資料】	34.37 15,149,811 44,077,400 (R5年度 [※])	% 円 円	34.37 — — (R10年度 [※])	% 円 円	37.69 17,141,024 45,474,036 (R6年度 [※])	% 円 円	西鉄バス中間線の輸送人員の増加に伴い、収支率は改善。中間評価時点で目標値を達成。	
指標 6	コミュニティバスの収支率 中間南校区 底井野校区 【資料：中間市資料】	13.86 8.71 18.04 18.50 17.90 (R5年度 [※])	% % % % %	16.67 — — — — (R10年度 [※])	% % % % %	18.21 13.39 24.20 21.79 16.90 (R6年度 [※])	% % % % %	コミュニティバスの年間利用者数(指標4)の増加に伴い収入増、収支率は改善。中間評価時点で目標値を達成。	
指標 7	西鉄バス中間線の利用者1人あたりの財政負担額 (中間市公共交通応援事業奨励金+) 中間市バス路線運行維持費補助金の金額→ 【資料：中間市資料】	208 21,114,999 (R4年度 [※])	円/人 円/人	208 — (R10年度 [※])	円/人 円/人	238 24,176,107 (R6年度 [※])	円/人 円/人	西鉄バス中間線の財政負担額は増加。中間評価時点で目標値には未達。	
指標 8	コミュニティバスの利用者1人あたりの財政負担額 中間南校区 底井野校区 【資料：中間市資料】	1,162 2,039 864 749 823 (R5年度 [※])	円/人 円/人 円/人 円/人 円/人	928 — — — — (R10年度 [※])	円/人 円/人 円/人 円/人 円/人	869 1,275 604 659 950 (R6年度 [※])	円/人 円/人 円/人 円/人 円/人	コミュニティバスの財政負担額は減少。中間評価時点で目標値を達成。	
指標 9	MaaSの導入に向けた取組件数 【資料：中間市資料】	0 (R5年度まで)	件	2 (R10年度まで)	件	0 (R6年度まで)	件	現時点でMaaSの導入に向けた取組なし。中間評価時点で目標値には未達。	
指標10	高齢者の運転免許証自主返納率 【資料：福岡県警察資料】	2.28 (R4年)	%	2.50 (R10年)	%	1.77 (R5年)	%	高齢者の運転免許証自主返納率は減少。中間評価時点で目標値には未達。	
指標11	情報発信、乗り方教室開催等による、意識醸成のための取組件数 【資料：中間市資料】	1 (R5年度)	件	4 (R10年度)	件	2 (R6年度)	件	令和5・6年度に筑鉄の乗り方教室の開催及びおでかけマップの配布を実施。中間評価時点で目標値には未達。	

※ 【交通事業年度】 n年度・・・(n-1)年10月～n年9月